

○金融教室の実践

2021年度から順次、小学校から高校の家庭科の授業に、金融教育が導入されました。しかし、私たちが調べたデータによると、金融について学ぶ必要があるという人が多くを占める中、それを教える提供者が不足しているという現状がありました。

そこで、金融分野に身近な商業高校で学ぶ学生が主体となって行う金融教室を実施することで、そのような現状を解決できるのではないかと考えました。対象は、金融に興味を示す社会人とします。

①準備

高校生だけの知識では不十分なため、私たちは、金融の情報を調べながら、教材を作成し、お世話になっている証券会社に、持参したシナリオとスライドで実際にプレゼンテーションを行い、支店長様にアドバイスをいただきました。



②その後

アドバイスをいただき、改めて内容を考え直しました。

- ・日本が豊かにならない理由として、「預金をすれば安心」「借金を負えば人生は終わり」というような考え方が一般的になっていることが挙げられる。
- ・金融知識の中でも特に資産運用分野についての知識をつけることが、人生設計を確かなものにするために、重要である。

以上のような内容を金融教室に盛り込むことにし、社会人向け教材の作成をさらに進めていくことにしました。

———作成したスライド（修正前：抜粋）———

<p>今回のテーマ</p> <p>お金を学ぶことの大切さとは？</p>	<p>資産形成ライフプラン</p> <p>資料① https://www.seginrikyo.or.jp/article/life/marriage/9822/ 資料② https://www.fso.go.jp/policy/misad2/knowledge/boski/index.html</p>	<p>お金のあれこれ</p> <p>お金の管理方法を早い段階から学ぶ</p> <p>知識不足は危険!!!</p>
<p>インフレ</p> <p>資産運用 × 貯金</p>	<p>投資と投機</p> <p>株式投資 投資信託</p> <p>自分の人生にあった選択が大事</p> <p>外貨投資 不動産投資</p>	<p>ライフプラン</p> <p>自ら金融について知ろうとする意識が大事</p>

③小・中学生向け金融教室の実践

①の現状より、早い時期から金融について学ぶ機会を設ける必要があると考えた私たちは、近隣の小学校・中学校にも金融教育を行ったらいいのではないかと考えました。

④準備

小学生・中学生に親しみを持って覚えてもらう必要があると考え、

座学だけでなくゲーム感覚で学べるような教材を作ることになりました。題して「〇〇〇〇〇的金融教室」

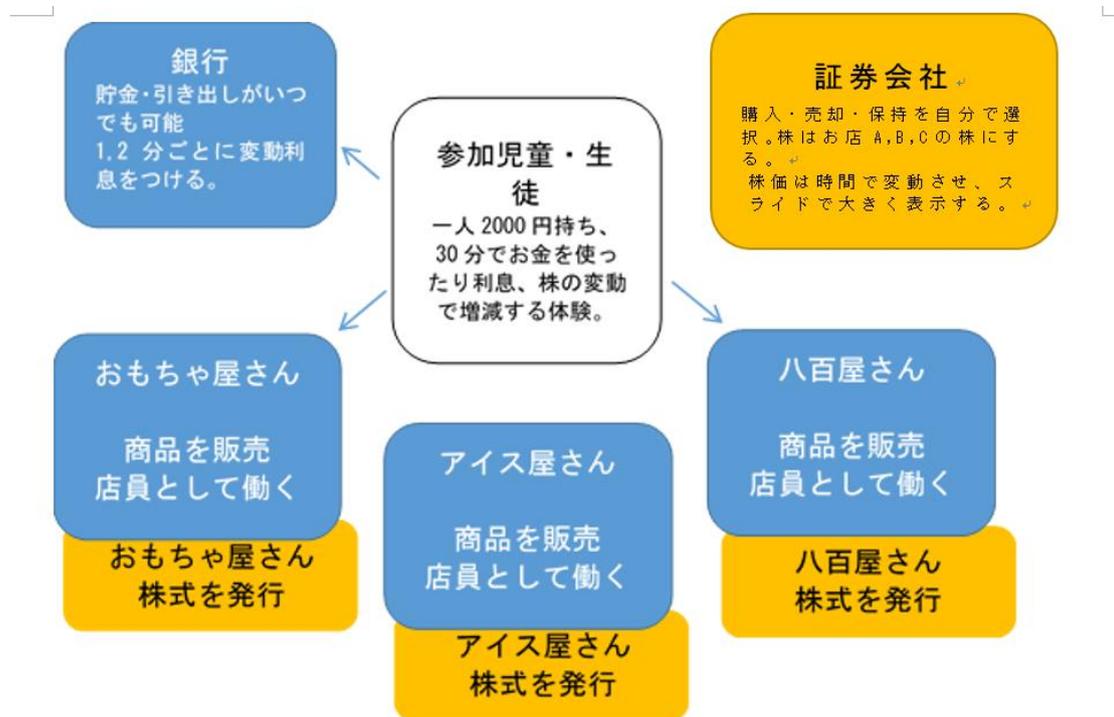
概要

場所：各小・中学校の体育館

目的：商品を買うのか、株を買うのか、貯金をするのかなどお金をどう使うか自ら考える機会にする。

内容：〇〇〇〇〇的金融教室（お金の運用方法を実践的に学ぶ）

- ・お店で働く店員さんとお客さんに分ける。（時間で交代）
- ・店員さんは働き、お客さんは①買い物②貯金③株を買う
- ・最終的にどれくらいお金を増やせたか、残すことができたか、物を買うことができたかなど様々な視点からのランキングを発表する。



⑤厚木市立緑ヶ丘小学校での実践

私たちの活動に興味を示してくださった厚木市立緑ヶ丘小学校様から5年生向けの金融教室の打診を受けました。そこで、考案した体験型教室の内容を提案しました。しかし、「小学校はお金を使う経験自体が少ないレベルなので、提案してくださった内容を扱うのは難しいのではないか」という意見をいただきました。

家庭科の教科書の内容は、どちらかという簿記会計分野の領域であり、私たちは、金融教育として資産運用・資産形成の重要性、早い時期から金融について学び始めることの重要性を伝えました。さらに1コマあたり45分の授業の中

⑥今後の予定

社会人向け金融教室については、さらに準備を重ね、投資の種類や資産運用の環境づくりなど、深い内容になるように、改変していきます。

小・中学校向け金融教室については、厚木市立緑ヶ丘小学校で実際に金融教室、さらには、近隣の荻野中学校より金融教室の実施の依頼を受けたため、それまでに、小学校・中学校の先生方と私たちが話をすり合わせながら小学生・中学生にわかりやすく、楽しい教室が開けるようにこれからも準備を続けていきます。